

[第27回散策の会]小石川七福神巡り



徳川家伝通院にて 集合写真(外国人父子に依頼)

散策の会の七福神巡りも今回で6回を数えました。

思えば、残り少ない貴重な人生をお持ちの方ばかりの中で、この5年間に参加者がお一人も欠けることなく続けることができたのも、七福神の御利益かも知れません。

この日、西武新宿線が人身事故のため、一時不通になるというアクシデントが発生しましたが、芦荷谷駅へ参集したのは、迂回経路を通してまでも散策を楽しもうという意気込みが感じられる面々でした。

ここ「小石川七福神」は男の弁天(宇賀神)を加えた八福神で構成され、平成7年に発足したごく新しい七福神巡りです。

それに通り道にある名所を2つ付け加えてみました。

★林泉寺(小日向4-7-2)

芦荷谷駅から坂を下った途中のこの寺に、縄で全身を巻かれている異様な姿の「縛られ地蔵」があります。

『ある夏の盛り、吳服問屋の手代が反物を大八車に積んで、この地蔵の前で一休み。疲れからついいうとうととしてしまう。

ふと目を覚ますと反物がそっくり消えている。

あわてて奉行所に駆け込む。時の奉行は大岡越前守、「目の前の盗人を見逃すとは地蔵も同罪」と、地蔵を荒縄でぐるぐる巻きにして引き立てた。

珍しい光景に野次馬もぞろぞろ後ろについて行き、奉行所に入る。途端に門が閉められ「白州へ許可なく入るとは不届至極。

罰として反物一反を持参せよ」との命令。

野次馬が持ち寄った反物を手代に調べさせたら、その中に盗品があり、犯人が検挙された。』

これが「縛られ地蔵」の大岡裁きです。同様な地蔵が葛飾区東水元の南蔵院にあって、前述の大岡裁きは南蔵院の方のお話です。

お寺は普請中で騒音が響いていました。



林泉寺参道



林泉寺 縛られ地蔵

★深光寺(小日向4-9-5) 恵比須

恵比須さまは高さが1m10cmほどの石像です。

境内左手に「南総里見八犬伝」の著者滝沢馬琴の墓がありました。



深光寺 惠比寿



深光寺 滝沢馬琴の墓

★徳雲寺(小日向4-4-1) 弁財天(男神の宇賀神)

この宇賀神は胴体がとぐろを巻いた約70mの蛇身の石像で、昨年巡った井の頭池畔にも同様の像がありました。



徳雲寺



徳雲寺 男神の宇賀神

★宗慶寺(小石川4-15-17) 寿老人

寿老人は金色の頭巾に浅葱色の衣をまとった木製で、高さ60cm位でしょうか。



宗慶寺 寿老人



宗慶寺でも御朱印

★極楽水(小石川4-16-13) 弁財天(女神)

1415年に了誉上人が伝通院の起源となる庵を結んだ場所です。いまは23階の高層マンションの敷地内にあり、水は涸れてしましましたが、しっかり管理されておりました。

弁財天は白蛇ですが、白幕に隠れてよく顔が見えませんでした。



極楽水 弁財天のお参り



極楽水 弁財天

★真珠院(小石川3-7-4) 布袋

本堂脇のお堂には、小さな木彫でカラフルな布袋が、生臭坊主風に足を投げ出していました。

また、裏手の墓地には大きな布袋の石像があります。



真珠院 布袋



真珠院裏手の布袋石像

★福聚院(小石川3-2-23) 大黒天

本堂の大黒天は鎌倉時代の木像といわれていて、文京区の有形文化財に指定されています。

また三国伝来(インド→中国→朝鮮→日本)の像といい伝いもあります。

ただ、堂内正面に写真が飾ってあるだけで、実物はどこにあるやら見できませんでした。



福聚院 本堂



福聚院 写真の大黒天

★伝通院(小石川3-14-6)

徳川家康の生母 於大(おだい)の方のお墓があります。また墓地の北側には徳川家一族の墓域があり、千姫はじめ徳川家の方々の墓所がありました。ですからさすがに壮大な堂宇です。柴田錬三郎の墓もありました。



伝通院正門



伝通院徳川家の墓所の一つ



伝通院 柴田錬三郎の墓

★源覚寺(小石川2-23-14) 昆沙門天

ここは「こんにゃくえんま」として有名です。『江戸後期、眼病を患った老婆が閻魔に21日間の祈願を行った。夢の中に閻魔が現れ、「満願成就の日に私の目をひとつ差し上げよう」といった。そして満願の日に老婆の目は治った。老婆は感謝のしるしに好物のこんにゃくを断ち、それを供え続けた』これが「こんにゃくえんま」のいわれです。

昆沙門は昆沙門堂の中にあり、木造の秀作です。

脇には「塩地蔵」という珍しい塩の塔がありました。



源覚寺 こんにゃく閻魔



源覚寺 昆沙門天



源覚寺 塩地蔵

★東京ドーム(後楽1-3-61) 福禄寿

東京ドームの22番ゲート前の総合案内所の裏手に祀られていて、石像1mの3等身でした。

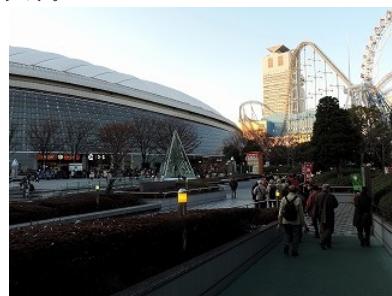
以前は小石川後楽園にあったのですが、お正月は後楽園が休園になるので、この場所に移転したのだそうです。



東京ドーム 福禄寿をお参り



東京ドーム 福禄寿



後楽園の夕暮れの中を…

★散会後は希望者で恒例のお疲れさん会です。

場所は水道橋駅近くの「芭蕉」という居酒屋での海鮮コース。鱈の干物まがいのものに一同辟易。ただ、1万3千歩歩いた後のアルコールは過剰に体内を巡り、酩酊組も出始めました。その後、懶りない面々は高田馬場のカラオケへと足を伸ばしました。



水道橋「芭蕉」で懇親会 初参加の末次さんの乾杯で！

今回は神社が1社もなく、お寺ばかりの七福神でした。ただ、いずれのお寺も祀ってある七福神との関係がさっぱり分からず仕舞いでした。
ただ、御影石の大きなものから、木彫の小さななものまで、バラエティに富んでいます。

さあ！福はたくさんGETしました。あとはご本人の心がけ次第。良い1年にしたいものです。

参加者

荒木・伊藤(徹)・国友・栗原・古林・佐藤(俊)・末次・鈴木・滝沢・竹内・土井・中村・野村・馬場・松村・山本・横田（17名）

報告:佐藤(俊) 写真:荒木